

製品安全データシート

1. 化学物質等及び・会社情報

【製品名】 **KB-VKR05** (整理番号 SDS- BP1003)

【供給者】 光洋産業株式会社

住所 : 東京都千代田区鍛冶町1-9-9石川LKビル

担当部門 : バイオメディカルグループ

電話番号 : 03-3252-1705

FAX番号 : 03-3252-1707

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

物理化学的危険性	分類できない
健康に対する有害性	分類できない
環境有害性	分類できない

【GHSラベル要素】

絵表示またはシンボル	—
注意喚起語	—
危険有害性情報	—

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

成分及び含有 :

化学名	含有量	CAS No.	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)
脂肪酸エステル	非公開	非公開	登録済 (非公開)
水	非公開	—	—

4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移し、安静保温に努め、異常があれば医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ、希次亜塩素酸ナトリウムで洗浄した後、多量の水と石鹼で洗う。皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断、手当てを受ける。
目に入った場合	直ちにコンタクトレンズをはずし、水で15分以上注意深く洗う。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受ける。
飲み込んだ場合	直ちに吐き出し、口をすすぎ多量の水で薄める。意識のない場合は何も与えず、直ちに医師の手当てを受ける。
応急措置をする者の保護	救助者が有害物質に触れないように手袋やゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤	粉末、二酸化炭素、泡 (アルコール泡)、水噴霧、乾燥砂
火災時の特定危険有害性	燃焼により、有害な窒素酸化物、ハロゲン化合物等を発生する。
特定の消火方法	火元への燃焼源を断ち、適切な消化剤を使用して消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移し、移動不可能な場合は周辺を水噴霧で冷却する。
消火を行う者の保護	呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	作業の際には適切な保護具を着用し、製品が身体に付着しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項	漏れ出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
除去方法（回収、中和、廃棄など）	漏出源を遮断し、漏れを止める。大量の場合は盛土等で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。少量の場合は、おがくず、土、砂、ウエス等で吸着させて取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
二次災害の防止策	完全に回収後、汚染された場所及びその周辺を大量の水で洗浄する。付着物、回収物等は関係法規に基づき速やかに処分する。河川等へ排出され、環境への影響を与えることのないように注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

（消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法等の関係法規に準拠して作業を行う。）

取扱い	<p>作業者は暴露防止のため取扱いは換気の良い場所で行う。 発散した製品を吸い込まないように、風上から作業する。 作業の都度、容器を密閉する。 密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。 容器は転倒させる、衝撃を加えるまたは引きずる等の粗暴な扱いをしない。</p>
保管	<p>容器および遮光袋に入れて、直射日光を避け、2～10℃の冷暗所で密閉保管する。 開栓した容器で再び保管する時は、密栓を良く確かめる。 堅牢で不活性な材質の容器を用いる。</p>

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	<p>密閉する装置または局所排気装置を使用する。 取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明確に表示する。</p>
管理濃度	設定されていない
許容濃度	<p>ACGIH TLV(s)：設定されていない 日本産業衛生学会：設定されていない</p>
保護具	<p>手の保護具：保護手袋 目の保護具：保護メガネ、ゴーグル等 呼吸器の保護具：有機ガス用防毒マスク、空気呼吸器 皮膚及び身体の保護具：保護衣（長袖作業衣）、保護長靴</p>

9. 物理的及び化学的性質

外観	形状	液体
	色	無色透明
臭い		無臭
pH		データなし
融点		データなし
沸点		データなし
引火点		データなし
発火点		データなし
爆発範囲		データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度（空気=1）		データなし
比重（または密度）		データなし
溶解性		水に溶解する
オクタノール／水分配係数		データなし

1 0. 安定性及び反応性

安定性	適切な保管、取扱いの条件下では安定。
反応性	アルカリ性物質と加熱すると分解を起こす。
避けるべき物質	日光、熱、アルカリ性物質
危険有害分解生成物	窒素酸化物、ハロゲン化合物

1 1. 有害性情報

急性毒性	データなし
皮膚腐食性／刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	データなし
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
標的臓器／全身毒性(単回暴露・反復暴露)	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし

1 2. 環境影響情報

生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生態蓄積性	データなし
魚毒性	データなし
土壤中の移動性	データなし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	焼却する場合、十分な可燃性溶剤、重油などの燃料とともにアフターバーナー、スクラバー等を具備した焼却炉でできるだけ高温で少しづつ焼却し、排ガスは中和処理する。 処理施設がない等の理由で廃棄できない場合は、都道府県の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理する。洗浄水等は凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄してから排出する。
汚染容器および包装	十分に洗浄して廃棄する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制	国連分類	非該当
	国連番号	非該当
国内規制		非該当
輸送の特定の安全対策及び条件		輸送前に容器の破損、腐蝕、漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

1 5. 適用法令

消防法	非該当
毒劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	非該当
化学物質管理促進法 (PRTR 法)	非該当

1 6. その他の情報

引用文献	<ul style="list-style-type: none"> 原料メーカーの MSDS NITE の GHS 分類結果データベース 安全衛生情報センターの GHS モデル MSDS 情報
------	--

本製品安全データシート (MSDS) は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しておりますが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。新しい知見により改訂されることがあります。

また、MSDS 中の注意事項は、通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は、用途、使用方法に適した安全対策を実施の上、製品を使用してください。